



**SHIP HEALTHCARE**

生命を守る人の環境づくり

## 2026年3月期第3四半期 決算説明資料

シップヘルスケアホールディングス株式会社

2026年2月6日



# 2026年 3 月期第 3 四半期 業績について

# 財務ハイライト（連結）

	2025.3		2026.3			
			3 Q累計業績	3 Q累計前期比		通期計画
(百万円)	3 Q累計 (実績)	通期 (実績)	3 Q累計 (実績)	増減	増減率	通期 (計画)
売上高	492,272	678,229	522,415	+30,143	+6.1%	700,000
売上総利益	46,185	66,743	46,102	▲82	▲0.2%	—
粗利率	9.4%	9.8%	8.8%			—
営業利益	15,121	24,779	14,450	▲670	▲4.4%	26,000
営業利益率	3.1%	3.7%	2.8%			3.7%
経常利益	16,545	26,023	15,462	▲1,083	▲6.5%	26,500
経常利益率	3.4%	3.8%	3.0%			3.8%
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	10,517	15,128	9,381	▲1,136	▲10.8%	15,500

# 決算ハイライト

## 売上高

TPP

大型PJ案件が前期比で更に下期偏重見込みの中、計画通り計上

MSP

新規SPD受託施設（3件/約950床）が今期(4月・7月)より稼働開始

MSP

経営母体の異なる複数病院との一括契約SPD案件がスタート

## 営業利益

TPP

大型PJ案件は計画通り進捗するも、前年同期には大型案件であるシニア向け分譲マンション竣工・販売があったが、今期は竣工物件が無かったため減益に

MSP

前期に稼働を開始したSPD施設の業績が堅調に推移

LC

水道光熱費/労務費の上昇、高い入居率を維持も前期比低下

PH

統合による経営効率化が数値的に現れる

## 経常利益

営業外

持分法適用会社からの「持分法による投資利益」は前期比減

- ✓ グループ全体としては概ね当初計画に沿った進捗
- ✓ 利益面ではPH事業の統合で改善効果創出

# セグメント別 売上高

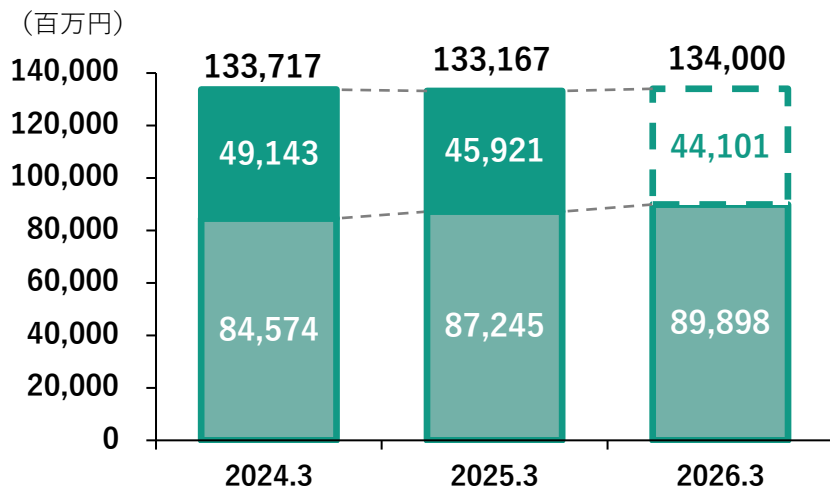
(百万円)	2025.3 3Q実績	2026.3 3Q実績	前期比 増減額	前期比 増減率
トータルパックプロデュース事業 (TPP)	87,245	89,898	+2,652	+3.0%
メディカルサプライ事業 (MSP)	352,223	378,475	+26,252	+7.5%
ライフケア事業 (LC)	27,621	28,158	+536	+1.9%
調剤薬局事業 (PH)	25,182	25,883	+701	+2.8%
合計	492,272	522,415	+30,143	+6.1%

# セグメント別 営業利益

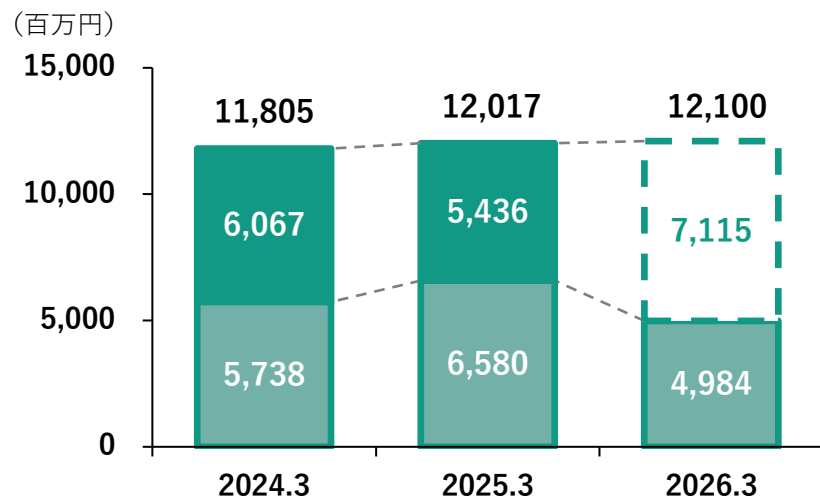
(百万円)	2025.3 3Q実績	2026.3 3Q実績	前期比 増減額	前期比 増減率
トータルパックプロデュース事業 (TPP)	6,580 利益率7.5%	4,984 利益率5.5%	▲1,596	▲24.3%
メディカルサプライ事業 (MSP)	4,206 利益率1.2%	4,758 利益率1.3%	+552	+13.1%
ライフケア事業 (LC)	1,746 利益率6.3%	1,707 利益率6.1%	▲39	▲2.3%
調剤薬局事業 (PH)	2,545 利益率10.1%	3,078 利益率11.9%	+532	+20.9%
調整額	41	▲77		
合計	15,121 利益率3.1%	14,450 利益率2.8%	▲670	▲4.4%

## 売上高

■ 4 Q実績  
■ 1 Q～3 Q実績  
□ 4 Q計画(2026.3)



## 営業利益



## プラス面

- ・ PJは下期偏重計画、概ね計画通り
- ・ 医療情報系ソリューションビジネスが好調  
(システム選定・導入支援、インフラ構築関連)
- ・ バングラ事業の赤字幅縮小

## マイナス面

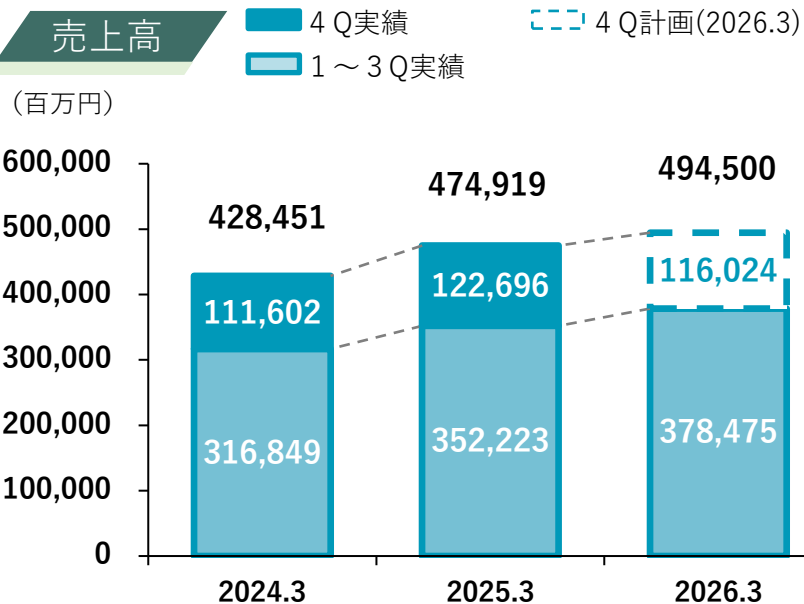
- ・ 前年同期には大型案件であるシニア向け分譲マンション竣工・販売があったが、今期は竣工物件が無かったため減益に
- ・ リニューアル案件完成の後ろ倒しが発生 (LED納期遅れ)
- ・ 円安による放射線治療装置の仕入れ価格高騰
- ・ 1QにM&A手数料などの一過性の諸費用を計上

売上高 (百万円)	2025.3 3 Q実績	2026.3 3 Q実績	前期比 増減	前期比 増減率
PJ・ルーチン	39,690	41,318	+1,628	+4.1%
メーカー系	21,867	21,988	+120	+0.6%
海外	264	456	+192	+72.8%
キングラン	17,422	17,416	▲6	▲0.0%
その他 (※)	7,999	8,717	+717	+9.0%
セグメント合計	87,245	89,898	+2,652	+3.0%

(※) 警備事業、建物管理事業、動物病院運営事業、医療刑務所事業の4社



## 売上高



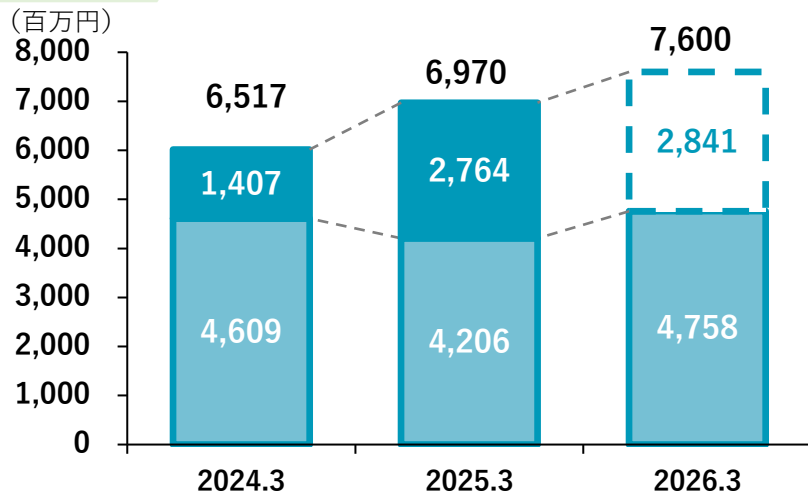
## プラス面

- 新規SPD受託施設（3件/約950床）が上期より稼働開始
- 経営母体の異なる複数病院との一括契約SPD案件がスタート
- 2024年10月1日付の5社統合を通じ経営効率化が進捗

## マイナス面

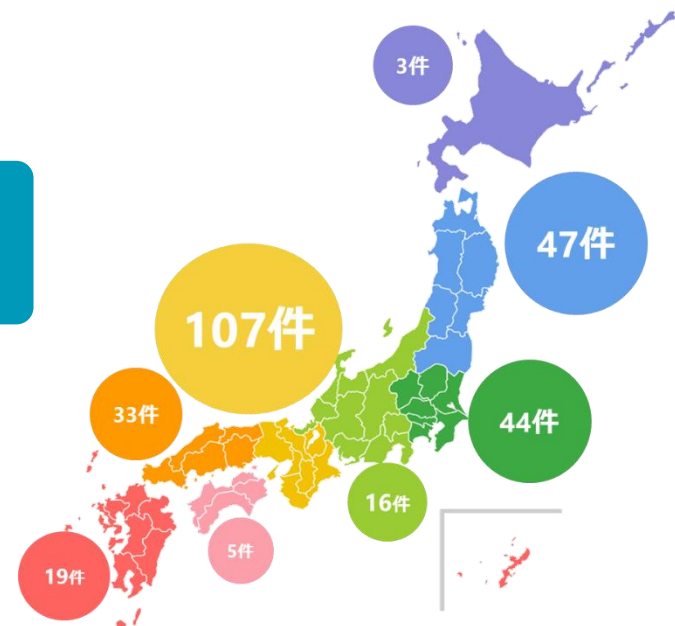
- 仕入れ価格高騰、最低賃金上昇に伴う人件費/派遣費の増加

## 営業利益



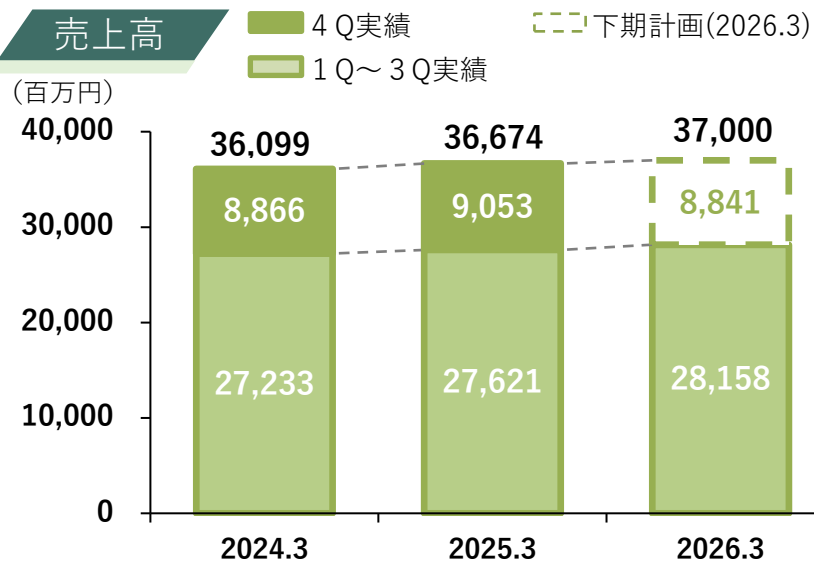
## (SPD受託状況)

全国 274 件  
約101,000床  
(2025年12月31日現在)

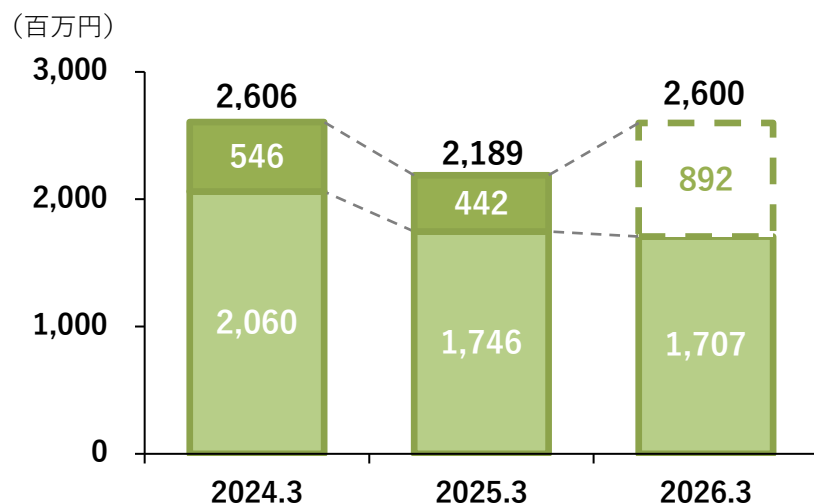




## 売上高



## 営業利益



## プラス面

- ・ 【ライフ】 2025年1月1日付で2社の統合完了、1社体制へ
- ・ 【ライフ】 2025年9月より管理費の再見直しを実施
- ・ 【フード】 ドリームキッチンの契約施設数伸長
- ・ 【フード】 原価高騰を鑑み不採算施設の厨房業務撤退  
又はドリームキッチン使用運営への転換を実施

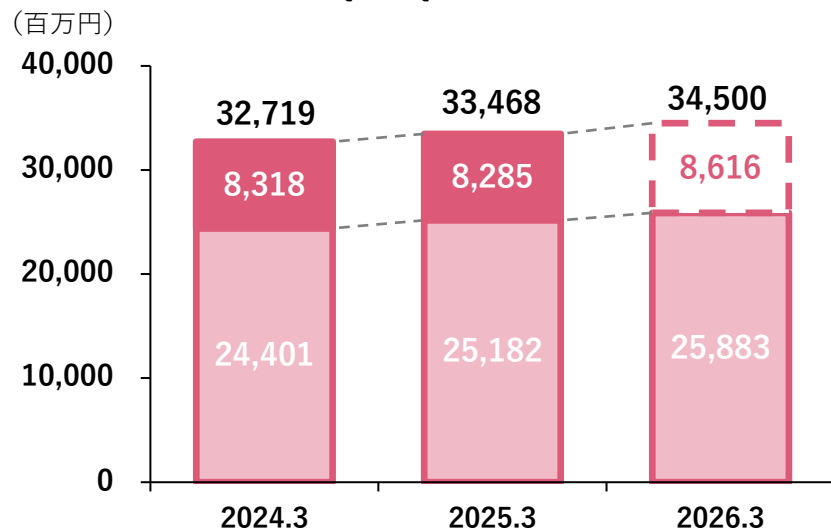
## マイナス面

- ・ 【ライフ】 水道光熱費の上昇
- ・ 【ライフ】 高い入居率を維持するも、前期比では減少
- ・ 【フード】 食材費高騰
- ・ 【共通】 人手不足による派遣費、委託費の高騰  
(価格転嫁対応実施)

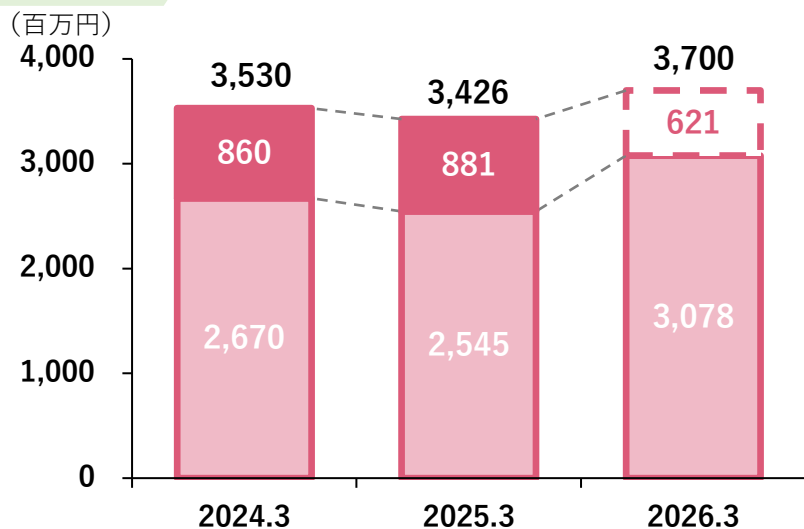
売上高 (百万円)	2025.3 3 Q実績	2026.3 3 Q実績	前期比 増減	前期比 増減率
ライフ事業	18,391	18,634	+292	+1.3%
フード事業	9,230	9,523	+293	+3.2%
セグメント合計	27,621	28,158	+536	+1.9%

## 売上高

■ 4 Q実績  
■ 1 Q～3 Q実績  
□ 4 Q計画(2026.3)



## 営業利益

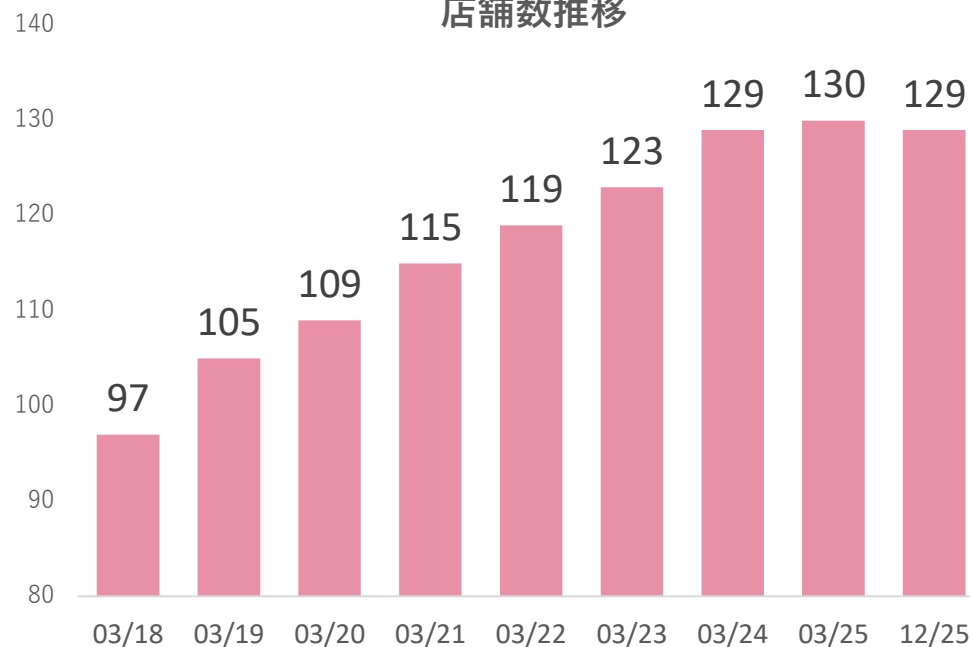


## プラス面

- 2025年4月1日付で4社の統合が完了
- 統合効果により、求人開拓費の削減等を実現
- 前期末より経営効率化の観点から、不採算店舗を中心に5店舗を閉鎖
- 一方で新たに4店舗がグループ参画

(店舗)

## 店舗数推移



生命を守る人の環境づくり



トピックス

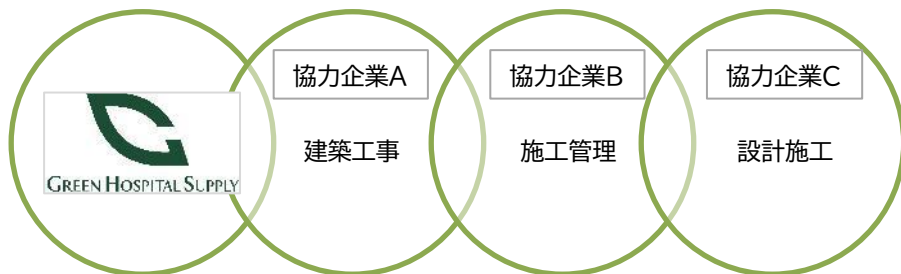
# リニューアル案件に対する取り組み

- リニューアル工事（手術室・ICU等設備工事や医療施設一部改築案件等）を継続受注することにより、今後の病院リモデル案件の獲得へ繋げる。

## リニューアル案件に対応できる 体制づくり（例）

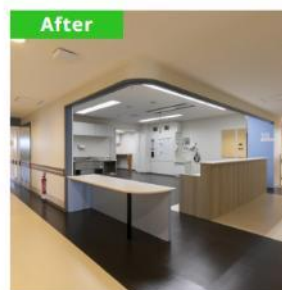
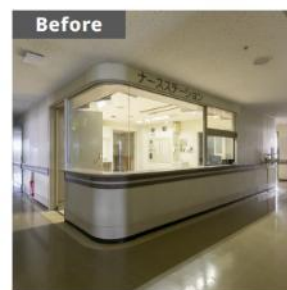
当社グループ中核企業であるグリーンホスピタルサプライが2024年より、工事協力会社の会、「MFグリーンの会」を発足。今後増加するリニューアル案件に向けて、協力会社とも関係強化を図る。  
現時点協力企業数 28社

MF（Medical Facility=医療と設備）

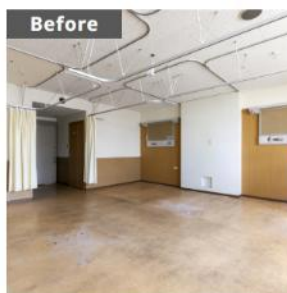


目的:安全衛生の推進と事故防止を目的に、教育・情報共有・  
改善活動・行事・パトロール・講習会・交流を行う。

## リニューアル事例



**A病院**  
**ナースステーション改築案件**  
ナースが業務を行いやすいよう、動線の整理、機能面の向上を図り、患者様があたたかみを感じられるような柔らかいデザインに変更。



**B病院**  
**病室（大部屋）改築案件**  
患者様が快適な入院期間を過ごしていただけるよう、部屋の空間を最大限活用できる設計のもと改築を行った。

家具の製造販売を行う事業会社を  
既にグループに



# ITソリューション

- 医療DX推進本部の設置等により、基盤となるネットワークインフラ整備案件需要が増加
- 病院ネットワーク構築の豊富な実績に基づき、トータルソリューションを提供



## ネットワーク／セキュリティ設計・構築 — 医療システムを止めない基盤づくり

- ネットワークを分離設計し、障害・不正アクセスの影響を最小化
- 医療現場の円滑稼働を前提とした高信頼インフラを構築



## 医療情報システム・ネットワークコンサルティング — 医療現場を理解した専門人材が支援

- 電子カルテ・部門システムの導入経験者が対応
- 選定から導入・運用までを中立的立場で支援



## 仮想基盤 設計・構築 — 院内システムの効率的な統合・最適化

- 複数の部門システムを仮想基盤上で統合管理
- ベンダー調整から構築まで一貫対応し、運用負荷を軽減

## セキュリティコンサルティング — 医療情報を守るためのリスク可視化

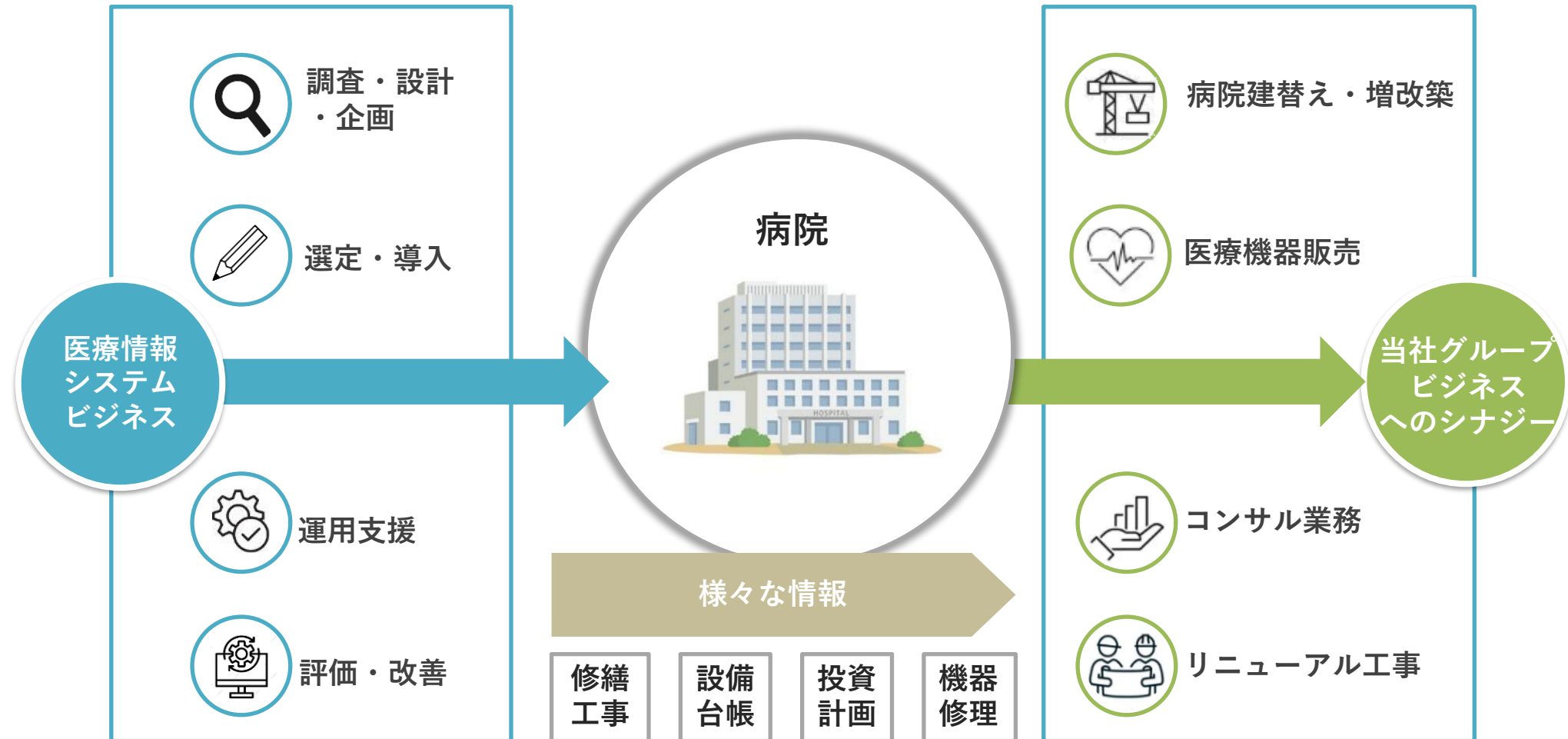
- 現状分析により脆弱性・リスクを可視化
- 医療機関に必要な対策を優先順位付けして提案



医療現場に不可欠なIT基盤を、継続的に支えるストック性の高いサービス

# ITソリューション

- 最適なソリューション提供によって取得する様々な情報を当社グループビジネスへ展開

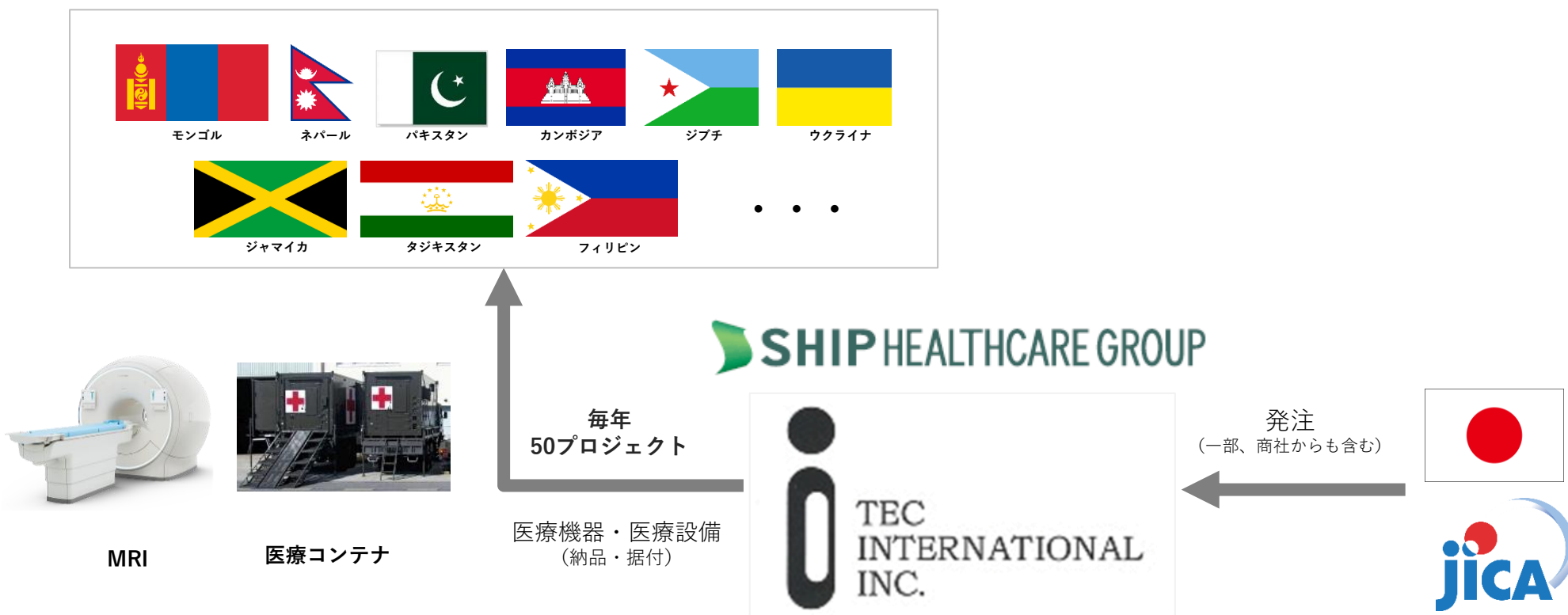




# ODA専門商社グループ参画

■医療にまつわるODA（政府開発援助）専門貿易商社「株式会社テックインターナショナル」が2025年5月27日付でグループへ参画。

※ 独立行政法人国際協力機構（JICA）の専門家として政府開発援助（ODA）事業に携わっていた経験を元に設立。  
これまでに30年以上、世界の国々において国際貢献に携わってきた実績。（1990年設立／本社・東京）



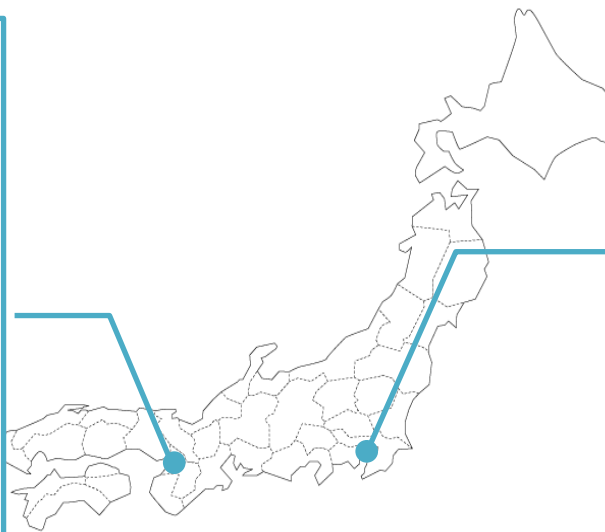


# 「SHIPグランベース 東京」を開設

- 従来の大阪SCに加え、新たに首都圏・医療材料物流拠点「SHIPグランベース 東京」を開設
- 医療材料供給の停滞を防ぐため、災害時には大阪SCと拠点間で連動してBCP対策を行う

NEW

大阪ソリューションセンター  
(2021年運用開始)



SHIPグランベース 東京



## 物流構想の5つのポイント

1

将来を見据えた働き手不足に対応した物流改革

人材の集約化・ロボット化による業務効率化

2

新たな購買戦略

拠点を活かした在庫保有や物流改善により、メーカー各社との連携強化

3

顧客ニーズに対応できるグループのブランド戦略

経営母体が異なる複数病院一括契約にも対応

4

BCP対応

医療材料の安定供給を可能とする体制の構築

5

病院内スペース不足による院外への新たなニーズ

院内型SPDは病院に多くの空間を要することから院外ニーズへの需要獲得

# 「SHIPグランベース 東京」 概要紹介

- 1 施設概要**
- |       |                  |
|-------|------------------|
| 延床面積  | 4,274坪 (14,129㎡) |
| 取扱品目数 | 約70,800品目        |
| 稼働開始  | 2026年2月          |

**2 先端技術の最大限活用した設備導入**

日本発の自動倉庫システム「RENATUS※」を中核とし、AI・ロボティクス・RFIDなどの先進技術を導入。

- ▶ SPD中核機能で地域医療物流を最適化  
首都圏の医療現場を強力にサポート

**3 自動倉庫による業務削減比較（ピッキングの場合）**

項目	これまでの「人」	これからの「自動倉庫」
病床数		850床
対象部署数		70部署
1日カード枚数		2,400枚
人数	12人	1人
総時間数	35時間	7.9時間

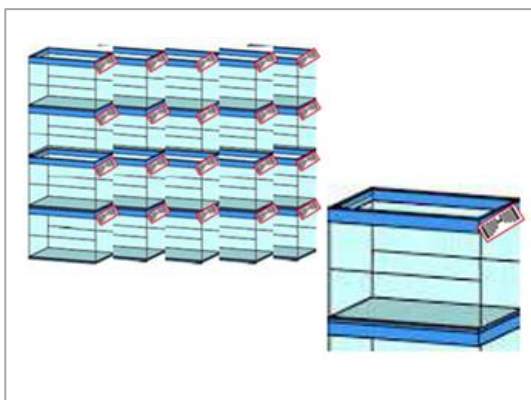


※ 超高効率の自動倉庫を製造・販売を行うRENATUS ROBOTICS株式会社が開発した統合型自動倉庫システムの名称。

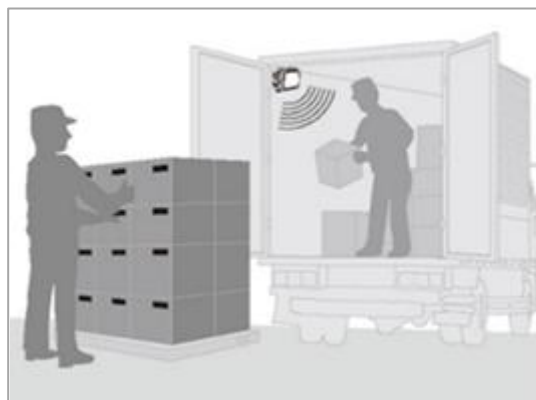
# 日本通運とのRFIDを活用した共同スキーム

- 医療材料に貼り付けたRFIDを活用し、「SHIPグランベース 東京」から各医療機関へ配送されるトラックにもRFIDセンサーを取り付け、医療材料の出荷から納品までの位置情報をリアルタイムで追跡・管理するトラッキングシステムを共同開発

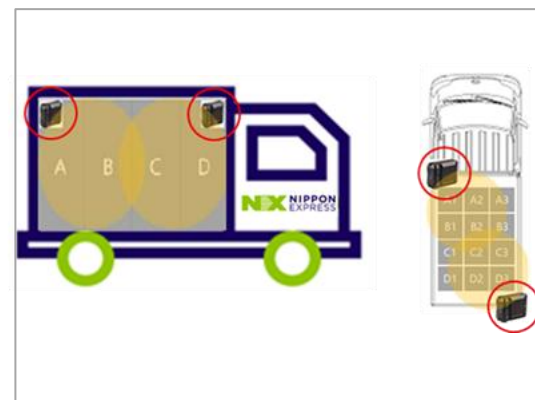
医療材料の出荷準備イメージ



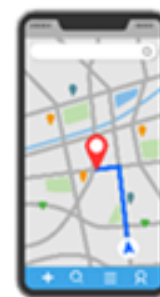
積み込み時の読取イメージ



トラック内RFIDセンサー設置位置

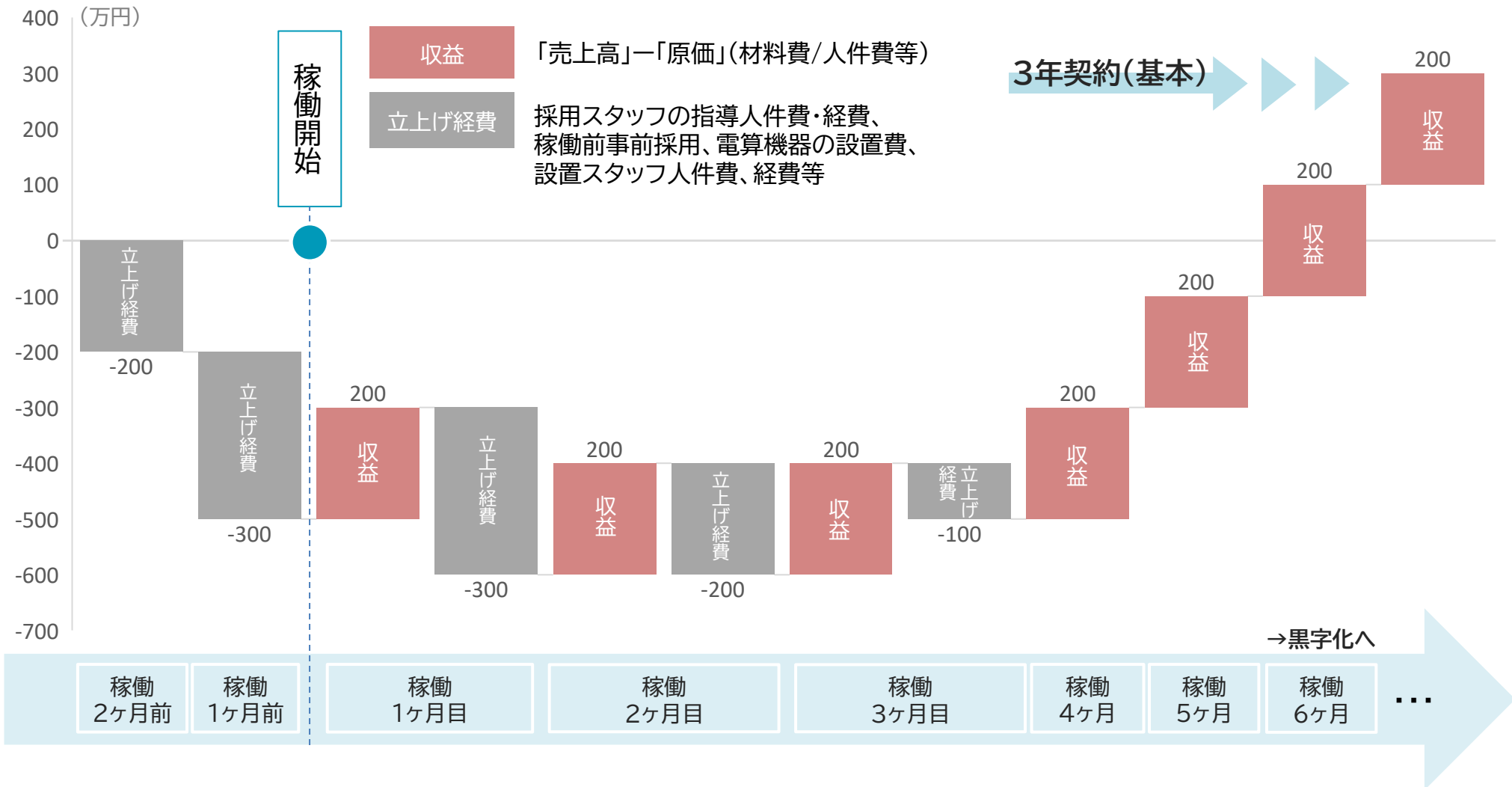


モバイル等で、輸送状況を  
リアルタイムに把握可能



# SPDの収益構造（例）

■ SPDは稼働の約2か月前から稼働後3か月頃まで赤字が先行し、その後黒字化





# グループ内再編統合による総合力を発揮

- MSP事業をメインとした、グループの再編統合による総合力を発揮。

## 与信力・交渉能力の向上

- ・ メーカー交渉
- ・ 病院価格下げ圧力



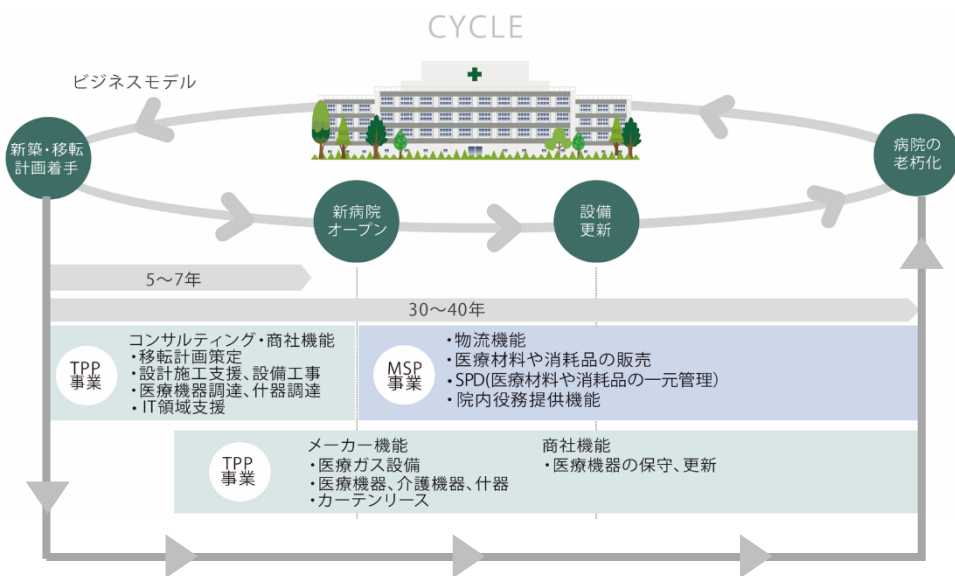
## 在庫管理・物流能力

- ・ 物流センター  
(関西から関東への拡大)



## 分析ノウハウ

- ・ IT化、SIPやデジタルツインへの挑戦
- ・ 経営データの蓄積と分析



攻めの  
TPP

守りの  
MSP

強化

利益改善  
顧客利便性向上  
経営効率化

攻めの  
MSP

メインビジネス  
TPPへの還流

# グループ連携案件事例

## (例1)コンサルティング業務からの他事業へ展開事例

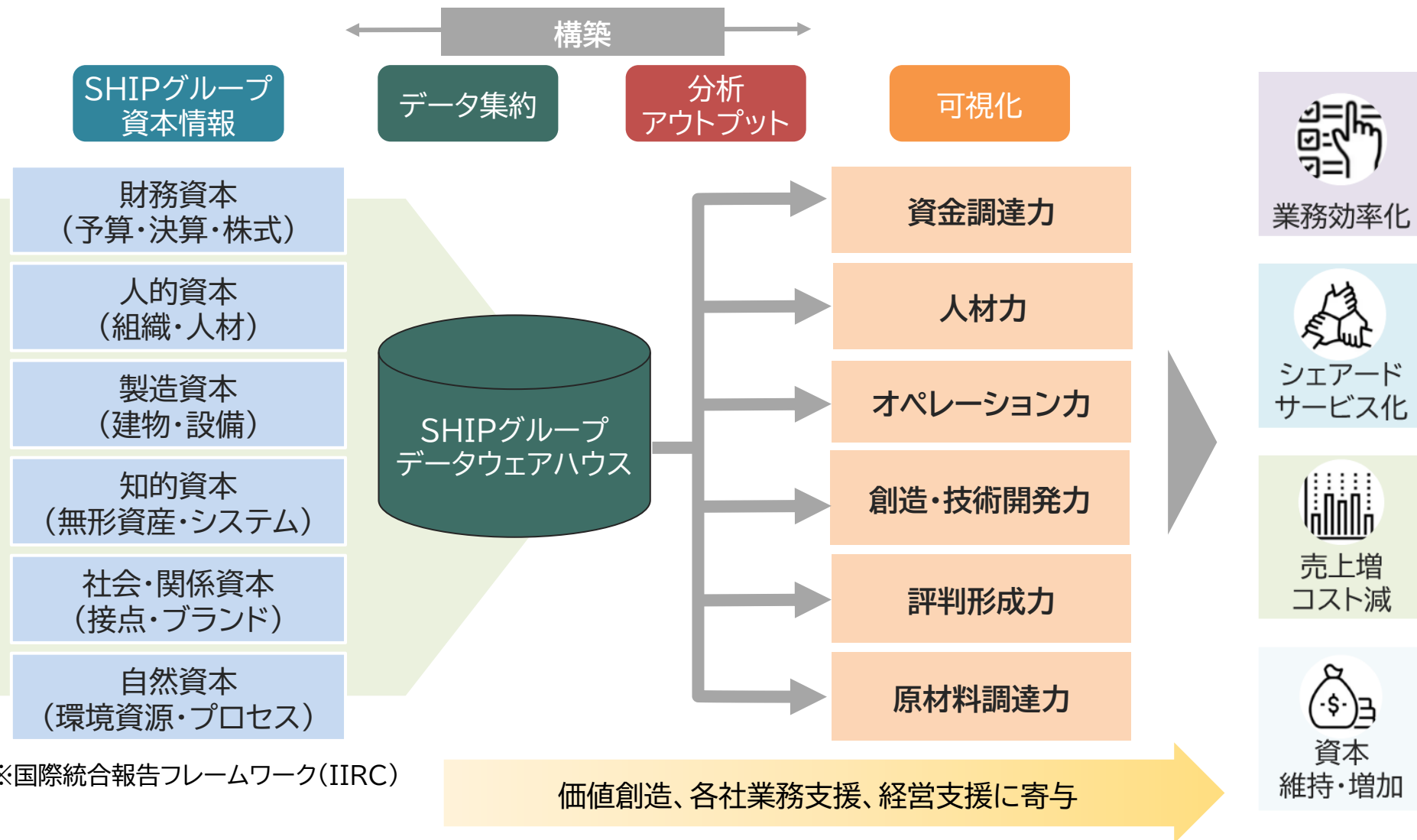


## (例2)メディカルサプライ事業からの他事業へ展開事例



# グループ連携のためのIT基盤整備

- グループ全体の情報を一元化し、経営判断を支えるIT基盤の整備に着手





# Well-Beingへの取り組み①

## チャリティ・イベントへの協賛

- チャリティイベント「サンタパレード大阪」への協賛を通じ、子どもたちに笑顔と希望を届けるとともに、地域と連携した社会価値の創出に取り組む。（2025年12月7日開催）
- 従業員が主体的に参加する機会を創出し、心身の健康とエンゲージメント向上を通じて、Well-Being経営を実践する。



### サンタパレード大阪とは

- ・ サンタクロースの衣装で街をパレードする、参加型チャリティイベント
- ・ 参加費の一部を、病気と闘う子どもたちへのクリスマスプレゼントに活用
- ・ 誰もが楽しみながら社会貢献できる取り組みとして国内で展開



# Well-Beingへの取り組み②

## 健康増進イベントへの協力

- 健康・地域活性をテーマに、誰もが楽しめる「健都リレーマラソン」イベントに協賛。  
(2025年11月3日開催)
- スポーツを通じて地域の健康づくりに貢献し、Well-Beingの価値を広げる。

**健都**  
リレーマラソン  
@吹田

- 北大阪健康医療都市「健都」で開催される、チームや家族で参加できるリレーマラソン。
- ファミリー向けランや交流イベントを通じ、ランニングによる健康促進を目的としている。



# お問合せ窓口



## 「ONE SHIP」マーク

追い風を受け前進する帆を表したSのかたちは、  
いかなる時でも目標を目指し航海をつづける  
SHIP理念を表象しています。

「ONE SHIP」は、  
社会要請という強い風を受け、  
ヘルスケアの未来という光を映しながら  
社会の荒波を航海する一艘の船を表しており、  
シップヘルスケアグループの結束を象徴しています。

- I R 窓口：経営企画部
- 電話番号：06-6369-0130
- メールアドレス：ir-info3360@shiphd.co.jp
- ホームページ： <https://www.shiphd.co.jp/>

本プレゼンテーション資料及び当社代表者が口頭にて提供する情報は、現時点で入手可能な情報をもとに当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいております。実際の業績は記載の見通しとは異なる可能性があり得ますことをご承知おき下さい。